

## 令和4年度 第9回常任理事会 議事録

日 時 令和5年2月11日（土）10:00～

場 所 北海きたえーる研修室

出席者 印藤智一、家近昭彦、齊藤幸治、石崎 賢、  
奥山 諭、笹森恭之、川崎尚子、多田吉宏、  
藤原 正、嵯峨亘道、明井寿枝（議事録）

<進行：多田常任理事>

### 1 開 会

議事録署名人に印藤理事長のほか、石崎常任理事、多田常任理事を指名。

### 2 理事長あいさつ

本日は、第4回理事会に向けた確認を含め、多くの議題について審議いただく。積極的な意見交換をお願いします。

### 3 協議事項

各担当者から、理事会提案にあたり、以下のとおり説明がなされ承認された。

#### (1) 第4回理事会の開催について

##### ①令和5年度 協会運営の基本方針（案）について（印藤理事長）

協会創立100周年に向け、さらなる発展の礎を築くため、強固な財政基盤と組織改革の検討をはじめとした重点目標等を次回理事会に提案する。

##### ②令和5年度 事業計画（案）について

###### ・総務委員会（齊藤総務委員長）

改選期に伴う役員等検討委員会や法人設立に向けた準備会議のほか、各種会議の開催を計画する。

###### ・競技委員会（石崎競技委員長）

準備を重ねてきたインターハイが8月1日から釧路市・釧路町で、8月7日から旭川市で開催される。

道協会主催大会の輪番制について、宿泊手配等の課題から再検討する。

###### ・審判委員会（川崎総務委員長）

インターハイ開催に伴い、4月30日に旭川市、6月24日に釧路市で全国高体連から講師を招き事前研修会を実施予定。

道協会ホームページを活用し、審判関係情報の発信強化を図る。

###### ・強化委員会（奥山強化委員長）

中学強化はJOCを中心に実施し、高校は国体強化に向け強化育成金基金を活用し、道外チームとの合同合宿を実施する。

###### ・指導普及委員会（笹森指導普及委員長）

ジュニアキャンプ50周年に合わせハンドブックを改訂する。

北海道公認コーチ認定講習会は、各地区協会及び加盟団体で実施する。

③高校選手権大会参加料の値上げについて（石崎競技委員長）

大会経費は大会参加料で賄うことを基本とし、他の高校の大会と同額とする。

これまで支出してきた大会交付金は、収益となり税務処理対象であることから、道協会収入として取扱う必要がある。以上の趣旨を十分に説明し、次回理事会に再提案する。

④令和5年度 一般会計・特別会計予算（案）について（齊藤総務委員長）

一般会計の収入の部では、理事会承認を得た大学・高専・中学・ヤング・小学賦課金の増額、Vリーグチームとの業務委託料等を計上した。

支出の部では、Vリーグ大会開催に伴う開催地協会への交付金を事業費で措置したほか、Vリーグや道協会主催大会等で活用するWi-Fi通信料を総務委員会費に、法人設立準備会議等の開催による会議費・旅費や会計・税務処理等の委託料と法人税等を委託料・公租として計上した。

また、各委員会事業費については、以下のとおり各委員長から要求内容の説明があり、今常任理事会終了後、正副委員長による査定を実施する。

・競技委員会（45,000円の増額）

競技役員の発掘と育成が急務であり、役員増員に係る経費を増額要求する。

・審判委員会（前年同額）

これまで強化育成基金を活用していた審判育成事業は、一般会計に組み替え、経常的な事業として継続実施するほか、ビーチバレー審判員等の普及も必要であり、前年同額要求する。

・強化委員会（同額要求）

今年度も強化育成基金を活用して国体少年強化対策事業を実施するほか、各カテゴリーの強化に向けた必要経費を要求する。

・指導普及委員会（同額要求）

これまで強化育成基金を活用していた道外チーム招聘による中学生強化交歓会事業は、一般会計に組替えたうえで隔年実施する経費等を要求する。

・法人設立に向けては、各委員会事業費のより一層の適正管理の徹底が必要となるので、今後2年間を目途に取組みを進めるよう理事長から指示があった。

各基金特別会計の収入の部については、第2回理事会で承認を得たとおり、財政調整基金と特別事業等基金の一部を強化育成基金に移行して計上した。

また、支出の部では、強化委員会から要求のあった国体少年強化対策事業について、正副理事長査定を経て、次回理事会に提案する。

⑤令和5年度 定時・臨時評議員会の開催日程等について（齊藤総務委員長）

定時評議員会は、令和5年5月13日（土）15時から、きたえーる研修室で開催し、審議事項は、令和4年度事業報告及び各会計決算認定等について、また、臨時評議員会は、同日16時30分からで、審議事項は、評議員会議長の互選等として次回理事会に提案する。

⑥役員等選考委員会委員の選任について

次期役員改選に向け、役員等選考委員会運営規程第3条に基づき、副会長代表・

理事長・評議員代表・監事代表・常任理事代表、各1名の委員の選任を次回理事会に提案する。なお、常任理事代表は、副理事長1名の選任について、副理事長協議により決定することが確認された。

⑦法人設立基本方針(案)について

協会法人化については、令和7年度の法人設立を目指すことが理事会承認されており、次年度以降、具体的な議論に移行するため、法人形態を一般社団法人の非営利型とすることや組織体制、法人設立スケジュール等を法人設立基本方針(案)として定め、次回理事会に提案する。

⑧倫理規定違反の処分解除について

第3回理事会の意見を踏まえ、倫理委員会で協議いただいた。

道協会としては、倫理委員会の協議結果に基づき、日本バレーボール協会が、大会参加の復帰規程を策定するのであれば、それを待って、その規程に準拠して更生プログラムを整備したうえで、処分解除を行うことを次回理事会に報告する。

⑨北海道バレーボール協会競技者及び役員倫理規定の一部改正について

当該規程の処分内容のうち、競技者に対する競技会等への出場及び参加資格と、役員に対する役員資格に係る無期限処分の取扱いについて、無期限処分は、期限を定めない処分であり、永久処分とは異なるものであることを規程上、明確化するほか、施行期日を次回理事会開催日の令和5年3月11日として提案する。

(2) 令和5年度 全道大会開催日程について

1月15日現在の大会開催日程に基づき説明された。

北海道高等学校定時制通信制体育大会の開催地が室蘭市から札幌市に修正された。

(3) 令和5年度 会議スケジュールについて

2月11日現在の会議開催日程に基づき説明された。

各種大会日程を踏まえ、再度日程調整することが報告された。

(4) その他

・道協会スポーツドクターの小原医師から、道内に点在するバレーボール経験者の医師がネットワークを構築し、怪我を負った選手等の早期治療等につなげる「メディカルユニット」について提案をいただいたので協議願う。(笹森指導普及委員長)  
⇒道協会としても競技者の怪我防止等のメリットが大きく、大変ありがたい提案であり、総務委員会組織の一部として検討すべく、今後小原医師と調整する。(印藤理事長)

## 4 報告事項

(1) 日本協会 (印藤理事長)

臨時ブロック理事会が先日行われ、今年度、日本協会の役員改選が行われる予定。

ビーチバレージャパンの札幌開催が見送りとなったが、道内開催の意向があり、今後も継続検討される。

新型コロナの5類移行に伴い、感染ガイドラインの見直しが検討されている。

(2) 各委員会関係

・総務委員会（齊藤総務委員長）

第3回理事会で承認を得た大学・高専・中学・ヤング・小学の賦課金の増額について、各カテゴリーを通じて通知を発出する。

日本協会から2023年度のMRSシステム更新スケジュールの連絡があり、3月9日から登録受付を開始する。

次回常任理事会・理事会は3月11日(土)から北海きたえーるで開催する。

・競技委員会（石崎競技委員長）

高校新人大会が無事終了し、男子は札幌藻岩高校が初優勝、女子は4年ぶり6回目の旭川実業高校が優勝した。

各地区協会の高校登録数を確認したところ、一部の地区協会では減少傾向となっており、今後、大会出場枠を見直すなど検討する。

・強化委員会（奥山強化委員長）

JOCカップの男子は決勝トーナメント1回戦で敗退したが、女子は2年連続ベスト8となった。

道内中・高校生が、アンダーカテゴリー代表等に選出され活躍が期待される。

・指導普及委員会（笹森指導普及委員長）

3月の地区対抗北海道中学生選抜優勝大会は、4年ぶりに有観客(各チーム30名まで)で開催予定。

・加盟団体

(高体連) インターハイ準備状況説明会を7月1日に、抽選会を7月2日に予定している。道協会会及び理事長の出席を別途依頼する。

(小連) 1月7日～9日で小学生選抜優勝大会を開催し無事終了した。

(3) その他（印藤理事長）

本日、正副会長会議を開催し、役員改選と次期アクションプランの協議を行う。

アクションプランでは、選手強化や大会運営の課題、協会での人材の発掘と育成などについて提案する。

5 閉 会

【次回：令和5年3月11日（土）10時00分～ きたえーる研修室】

議事録署名人

理 事 長

印藤 智一

議事録署名人

石崎 賢

議事録署名人

多田 吉宏